

ルールブック制作プロジェクト

子供たちの夢を拓ける、ルールブック制作

ルールを学べば、もっと楽しめる

HDPのスポーツ用具支援活動では、皆様からのご協力により、モンゴル・フィリピン・インド・ケニアの子供たちにスポーツ用具を提供し、「スポーツの楽しさ」を伝えて参りました。しかし、中には“ボールに触れることすら初めて”という子供も多くいます。スポーツをより楽しむために、正しいルールを学ぶことのできる『わかりやすいルールブック』が必要不可欠だと私たちは考えました。第一回目はインドの子供たちにサッカーのルールブックを送ることが決まり、日本サッカー協会(以下JFA)監修の元、一般から広くボランティアを募集してサッカーのルールブック作りに着手することになりました。



インドの子供たちを想って。アイデアと熱意に満ちた制作ストーリー

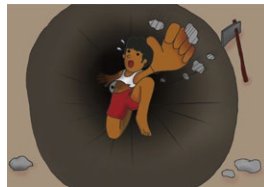
■ 制作スタッフの募集

HDPではウェブサイトをはじめ、関係各所にチラシ・ポスターにて協力者の募集を行いました。ご応募いただいた方の中から選ばれたのは九州大学の学生、長野 荘平さん、二田 翔さん、種子島 康時さん、千 泰山さん。4名の方に制作プロジェクトの要となる企画・イラスト制作を担当していただくことになりました。



■ サッカーのルールを物語で伝える

HDPとボランティアスタッフによるミーティングを重ね、その中から生まれたのが子供たちにサッカーへの興味と夢を持ってもらうために『紙芝居』で伝えるというアイデアでした。インドの絵本を取り寄せて研究したり、ストーリーを幾度となく見直したり、日本語・英語で併記する等細かなところまで気を配りつつ丹精を込めて完成させました。その後、実際にインドで子供たちにルールを伝えていただくフリー・ザ・チルドレン・ジャパン(以下FTCJ)様のご協力により、インドの子供たちのためにヒンディー語訳も付け加えられました。



■ より伝えやすい形へ「フラッグ」形式の採用

FTCJ様からインドでのサッカーを教える環境を聞き、より伝えやすい形があるのではないかと新たな形を模索することになりました。決まったのは厚いビニールに印刷する「フラッグ」形式です。HDPのスポンサーでもある株式会社三邦様のご協力により実現したこの「フラッグ」は、サイズが大きくみんなで一度に見ることができ、紙に比べて耐久性もあり、存在感があるので紛失しにくく、インドの環境にあっています。「いかにルールをわかりやすく見せるか」に重点を置きながら、紙芝居と同様に熱意をもって制作しました。



制作にご協力いただいた九州大学の学生さまからのコメント

これまで、私自身がサッカーの経験を通して、多くの大切なものを感じることができました。この紙芝居、ルールフラッグを見て、サッカーに興味を持つきっかけになり、子供たちの可能性を広げてくれることを願っています。スポーツで夢を与えることができるプロジェクトに関われたことを、光栄に思います。

長野 壮平(ながの そうへい)さん

インドの子供たちの視点を意識し、彼らに楽しんでもらえるもの、サッカーを好きになってもらえるものを目指し、メンバーと共に創意工夫しました。HDP運営事務局、FTCJの方々など、たくさんのご関係者からのお力添えを頂き、満足できるものが出来あがりました。紙芝居とルールフラッグがサッカーに興味を持つきっかけとなることで、子供たちのより豊かな生活に影響を与えることを願っています。

二田 翔(ふたた しょう)さん

スポーツのもつ無限大の可能性を感じました。人に夢を与え、人を成長させ、人と人をつなぐ。そんなスポーツの力を制作の中で感じました。紙芝居やルールフラッグから、少しでもそんなスポーツの力を子どもたちが感じとってくれたらな、と思っています。

種子島 康時(たねがしま こうじ)さん

ストーリーとグラフィックスの制作にあたり、分かりやすく馴染みよいデザインを心がけました。このお話を読んだ子供たちが、いつの日か、インドサッカーを背負う名プレイヤーになることを願っています。

千 泰山(せん たいざん)さん

「紙芝居」「ルールフラッグ」完成品をお届け

■ ご監修いただいたJFA様にお届けしました

財団法人JFA 大野様からのコメント

サッカーに出会うことによって、一人でも多くの子供たちが幸せになれるように、笑顔でボールを蹴る事が出来るためにお手伝いできれば、という思いで協力させていただきました。ルールフラッグでは基本的な技術、紙芝居ではサッカーで叶う夢があることを教えてくれます。日々厳しい環境にある子供たちでも、サッカーを始めることによって、新しい世界を夢見てくれればと思います。そして、一人でも多くの子供たちが、夢をもってサッカーができる平和な世界が一日でも早く来ますように。HDPの活動に感謝します。

指導者養成ダイレクター / 大野 真



JFAについて

JFAは、日本サッカー界を統括し代表する団体として、サッカー競技の普及および振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的としています。

■ インドの子供たちへ届けていただくFTCJ様にもお届けしました

NPO法人FTCJ 中島様からのコメント

サッカーを楽しむためには、ルールを学ぶことは大切です。分かりやすくサッカーのルールが学べる、ルールフラッグの提供は名案だと思いました。また、紙芝居に関しても、子どもが楽しめるツールなので、いいアイデアだと思いました。ルールフラッグ・紙芝居でルールを理解することで、より多くの子供たちが、サッカーを楽しめるだろうと期待しています。これがきっかけで、サッカーチームができたなら嬉しいですね！



中島 早苗



FTCJについて

「子どもによる、子どものための」国際協力団体です。「Kids Can(子どもだからこそできるんだ!)」を合言葉に、子どもによる国際協力活動を推進しています。